



やまゆり

学校だより

令和5年5月1日
9号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究主題 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「健やかな身体の育成」

野球部が合同チームで選抜大会の試合をしました

4月29日(土)に都留市の楽山球場で野球の選抜大会を行いました。野球部は、都留第一中学校・東桂中学校と合同チームで都留第二中学校と試合をしました。結果は0対6で県大会に出場することはできませんでした。

しかし、最終回の7回まで今までの練習の成果を生かし、良いプレーがたくさんありました。また、礼儀をしっかりとる事やグラウンドを一生懸命走ること、プラスの声をかけることなども昨年以上にできるようになっていました。ピンチの場面でも、落ち着いてプレーし4回・5回・7回は0点に抑えることができました。攻撃面でも、ノーアウト満塁の場面をつくるなど昨年にはできなかったことが着実にできるようになり、成長を感じました。

保護者の皆様も大勢来場して下さり、応援して頂きありがとうございました。この試合の成果や課題を、他の部活動の生徒にも伝え、全校一丸となって総体に向けて努力し続けてほしいと思います。

3校の合同チーム。チーム力も高まりました。



我慢強い試合運び



審判が足りず、軟式野球連盟に審判依頼



礼儀と一生懸命さを指導する三浦先生



組谷先生も大会運営で力を発揮



大会を支えて下さった4校の野球顧問の先生方



救護担当の宮本先生



円陣で攻撃の意思統一！気持ちは負けない



景己さん チーム唯一の盗塁



輝さんは初めての1塁守備。良く頑張りました。



攻守交代の速さは、一流チームの証



全力疾走NO1でした



献身的にチームに貢献



ネクストでも声を出す紫龍さん



コーチで声を出す雅也さん



選手だがコーチも主体的



応援して下さった保護者の皆様



スコアボードは組谷先生が担当



ボールを監督に手渡しする一中の2年女子生徒
体調が悪く試合に出られなくても毎日部活に参加。
今できることを一生懸命努力する姿に学ぶ。

勝ち負け・点差に関係なく、全力でプレー
して満足感や達成感を得る大切さを体験!
部活動を通して社会人のレギュラーになる。



全校生徒で試合の内容を振り返り、今後に生かしましょう

部活動について考えてみましょう

- 1 最後まで勝てるチームは全国で一校のみ。残りの学校は全て負けて引退する。可能性で考えると、負ける可能性が圧倒的に高いのになぜ努力するのでしょうか。
- 2 部活動の目的と目標は何でしょう。目的と目標はどう違うのでしょうか。
- 3 チームとして、負けても仕方がないこと。負けてはいけないことは何でしょう。
- 4 部活動は学級と違い、異年齢でします。何を学ぶべきでしょう。
- 5 部活動は学園祭と違い、2年以上取り組みます。どんな意味があるのでしょうか。
- 6 本当に大切なものはお金では買えない。部活動で学んだお金では買えない大切なものは何でしょう。
- 7 練習でできない事が、試合でできるのでしょうか。では、どうしたら良いのでしょうか。
- 8 緊張しすぎないようにするにはどうしたらよいだろうか。
- 9 先生に全て言われてする練習。自分でする練習。意味は同じだろうか。
- 10 高校野球は、プロ野球と比較すると技術も体力も低い。それなのになぜ大勢の人が高校野球に感動するのだろうか。
- 11 応援に来てくれる人は、何に満足してくれるのだろうか。
- 12 高校受検は勉強すれば、必ず答えが出る。部活動のスポーツはどうだろう。
- 13 社会人のレギュラーとは、どういう人だろう。
- 14 本当に実力のある人は、劣勢の時どう考え、どのようなプレーができる人だろう。
- 15 勉強と部活動を両立するにはどうしたらよいだろうか。

総体に向けてもう一度確認しましょう

- 1 まず、できていることを確認しよう。それを徹底して伸ばそう。
- 2 部活動で学ぶ事は誰のためになるのか。
- 3 挨拶・礼儀は徹底。分かってはいるが、本当に出来ているだろうか。
- 4 試合中の声かけを、ワンプレーで一声、意味のある言葉でかけているだろうか。
- 5 チーム一丸となって本気で試合しているだろうか。
- 6 主体的に練習・プレーし、満足感や達成感、友人を認め、連帯しているだろうか。